

ヌーヴェルエステティック日本版

les nouvelles Japon

esthétiques
spa

Autumn

2016
Vol.85
¥1,500

World Beauty Slim

世界の
トリートメントを
体験できるサロン

時を超え、国を越え、世界中の美容法が
集まるNIPPON

the healing power of BEAUTY WELLNESS OILS

肌が喜ぶ
ビューティウェルネス
オイル「オイルを知れば肌は変わる」

雑誌コード: 0795-2101 発行日: 2016年10月10日 発行元: エスエスエス株式会社

インディバ・ジャパン山口祐司代表取締役会長インタビュー 「美容・医療分野の市場に求められるものは`便宜性、`」



痩身、美容、アンチエイジングにと、高周波温熱機器『インディバ®』は、全国のエステティックサロンで活用されています。
絶大な集客効果が魅力の『インディバ®』の導入だけでなく、真にお客さまに信頼・ご満足いただけるサロンになるために必要なこととは？
インディバ・ジャパンの山口祐司代表取締役会長にお話を伺いました。

スペインで生まれて33年。高周波温熱機器『インディバ®』はその有効性・有用性が世界中で認められ、広く活用されてきました。日本では、1995年から全国的美容・医療分野の施設に導入されています。

『インディバ®』の日本総輸入元・販売元の株式会社インディバ・ジャパンの山口祐司代表取締役会長は「癒しと美」、「健やかに美しく」、「いつまでも若々しく」と、常に美と健康に対する目標を掲げてきました。高齢者の介護が深刻な社会問題となっている現代は、寝たきりの晩年にならないよう、「健康寿命の延伸」にも着目。さらに、山口会長は今後の美容・医療業界に必要なキーワードは`便宜性、だといひます。

「寝たきりにならないためには予防が大切ということが日本でも重視されるようになってきました。とはいえ、治療と予防がそれぞれ別の施設だと、何か所にも足を運ばねばならず、面倒なものです。もし1カ所で治療も予防もできるところがあれば、そっちを選びたいかな？このように、医療機関もエステティックも、今後は便宜性が求められるようになってきます」

`便宜性、の向上のため、これまで各分野の従事者別に行っていた全国のセミナーを統一して開催するようになりました。現在開催されているセミナーにはエステティシャンだけでなく、『インディバ®』を治療に使っている鍼灸師、柔整師、統合医療の看護師なども参加します。自らの専門分野外の『インディバ®』

の有効性をも知ることで、より良い施術や新たなメニューの考案につなげるケースも多いようです。

「むろんエステティックサロンでは、治療行為はできません。ですが、医療機器としても使われる『インディバ®』でのトリートメントによって、施術と同時に相乗効果としてお客さまの苦痛を和らげて差し上げることは可能です」

例えば腰痛は、大腿部の前面に原因があるケースもあることが大学の研究で分かってきました。これを知っていれば、ヒップアップや引き締めの下半身トリートメント時に『インディバ®』を使用する部位を広げることで、腰痛を軽減することができるのです。自律神経のバランスを整えることもできる『インディバ®』なら、多くのお客さまのお悩みまで和らげて差し上げるトリートメントができるでしょう。

「温熱作用に加え、非熱作用、電流作用も併せ持つ『インディバ®』は、施術に有効な機器です。しかし、使いこなせなければ`ただの箱、(笑)。だからこそ、教育なのです。弊社は教育体制あつての販売が基本理念。機器の保証はもちろん、永久的に無料教育を行っていきます」

営業部員の3倍以上の教育部員が在籍するインディバ・ジャパン。いつの時代も右肩上がりの業績を更新し続けるのは、この教育があつてこそものさすです。



「インディバ®ER42」



「インディバ®MD530」

「インディバ®アクティブHCR801」
(医療機器承認番号22300BZX00167000)

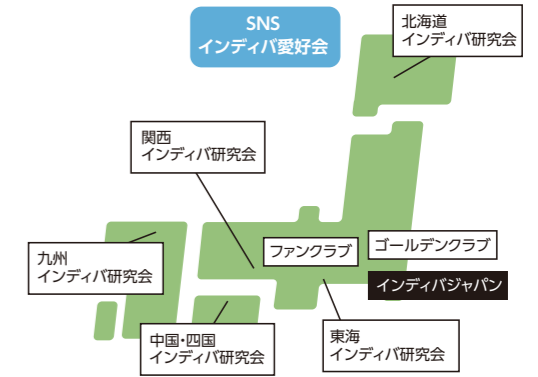
全国に広がるインディバ®・ファミリー

20年来のベテランユーザーの「ファンクラブ」をはじめ、「インディバ®」をエステティックサロンに導入しているユーザーが自主的に作った勉強会が日本全国にあります。それぞれの勉強会は10名程度で構成され、各会が連携したり勉強の成果を地域のサロンに提供したりすることもしばしば。これが集客や口コミのアップにつながっています。ネット上には、「インディバ®」によるトリートメントを受けたお客さまによる「SNSインディバ®愛好会」も。「インディバ®」を信頼、愛する女性の多さがうかがえます。

ユーザーを`ファミリー、と考える「インディバ®・ジャパン」では、毎年行われる「インディバ®・コンベンション」で「インディバ®・ファミリー」に発表の場を設けるなどして、活動をサポートしています。家族のようなお付き合いから、「インディバ®」の品質向上のアイデアが生まれてくることも多いといひます。



全国の教育チャンネル



『第15回インディバ®・コンベンション』11月13日に開催! メディカル、エステティックの領域から『インディバ®』の多彩な有用性を発表 独自のインディバ®通電クリームの実証も

株式会社インディバ・ジャパンが、高周波温熱機器『インディバ®』の有用性・有効性を発表する『インディバ®・コンベンション』は、11月13日に都内で開催されます。15回目を数える今年もメディカル、エステティック分野から多くの“新症例”が報告される予定。同社がスポーツ・治療分野へ展開している『インディバ®・アクティブ』からも、新たな施術効果が発表されます。今年さらには、『インディバ®』を使用する際に必要になる専用通電クリームの実証性についても、初めて発表されます。ユーザーの方はもちろん、『インディバ®』に関心がある人にとっては見逃せない1日となります。

『インディバ®』は日本で20年以上にわたり販売されている機器。はやりすたりの激しい美容業界において、これはとても珍しいことで、それだけ効果が広く認められているという証しといえるでしょう。機能としては高周波温熱機器と呼ばれている通り、「体を温める」こと。しかしそれだけの機能ながら、ボディシェイプ、フェイシャルなどエステティック分野はもちろん、メディカル領域でも美容形成のみならず歯科、内科、外科などに幅広く導入されています。近年、健康面からも体を温めることが注目されてきていますが、『インディバ®』がもたらす健康・美容面での作用を見聞きすると、改めてその重要性を痛感せざるを得ません。

さて、今年の『第15回インディバ®・コンベンション』も、多くの新しい発見が期待できそうです。生体電磁界の第一人者として例年、独自の視点から発表するラモン・イ・カハル医学研究所上級研究員、アレハンド

ロウベダ先生は、昨年『インディバ®』による「脂肪細胞の増殖・蓄積の抑制効果」について発表し、『インディバ®』の作用の奥深さを改めて知らしめていただきましたが、今年は細胞現象についての最新報告が予定されています。『インディバ®』の新たな知見となることは間違いなく、発表が楽しみです。なおメディカル分野では歯科領域から顎関節症、インプラント手術後の事例についても報告がなされます。

『インディバ®』専用通電クリームについても、有効性、誘電率について発表されます。試験を東海大学大学院の新屋敷先生に依頼。その結果について明らかにされますが、通電クリームも数多く販売されているなか、なぜ『インディバ®』専用通電クリームを使うべきなのかが解明されます。

腰痛や美脚、体質改善など さまざまな施術効果を明らかに

多くのプロスポーツチーム、選手にも使用されている『インディバ®・アクティブ』からは、アスリートへの腰痛治療について、京都大学大学院・青山朋樹准教授が講演。今や国民病ともいえる腰痛。その具体的な施術方法の一端の発表は、参加者にとっても大いに役立つものとなるでしょう。『インディバ®・アクティブ』での事例では、美容での活用として、指圧と組み合わせた美脚効果についてもデモを交えて発表されます。

ランチョン・セミナーでは、『インディバ®』と体幹チューニングの組み合わせによる体質改善について発表。こちらもデモを行います。インディバ・ジャパンが脂肪滴・セルライト抑制法として特許を取得している、高濃度ビタミンCとの併用でのアプローチもご覧いただけます。

近年は参加者が増加の一途で、会場定員である400名を超える規模での開催となっている『インディバ®・コンベンション』。日本で長年の実績を持ち、信頼ある機器として定着している『インディバ®』、そしてスポーツ・治療分野でプロアスリートから高い評価を得ている『インディバ®・アクティブ』。その実力に触れる絶好の機会となりそうです。ご興味のある方はぜひ参加されてみてはいかがでしょうか。



「第15回インディバ®・コンベンション」
開催日時：2016年11月13日(日) 10:00~(受付開始は9:00)
開催場所：TKPガーデンシティ品川(品川GOOSE内)
問い合わせ先：株式会社インディバ・ジャパン TEL 03-5768-8871